

進捗管理様式案の視点

第2期総合戦略策定・推進の基本姿勢

(東村山市人口ビジョン(改訂版)・第2期東村山市創生総合戦略 P67 より)

3 基本姿勢

以下を基本姿勢として、第2期総合戦略を策定・推進します。

- ① 人口が本格的な負のスパイラルに陥る前に、人口減少を抑制し、地域経済の維持・成長と地域活性化を図ります。
- ② SDGs※の理念に沿った取組を、多様な主体との協働や、異なる分野の施策間の連携により行うことで、未来につながる持続可能なまちづくりを推進します。
- ③ 新型コロナウイルス感染症流行の影響等、社会情勢や市の状況・課題を踏まえるとともに、PDCA サイクルを回すことで、市の実情にあった実効性の高い戦略を策定し推進します。

第2期総合戦略進捗管理の考え方

(東村山市人口ビジョン(改訂版)・第2期東村山市創生総合戦略 P5 より)

表 3-1-1 数値目標・重要業績評価指標の定義と活用方法

名称	定義	概要・活用方法
数値目標	基本目標ごとに、目標を明確にするとともに、その達成度合いを客観的に検証するために設定	数値目標の実績値には、東村山市の施策のほか、国や東京都の施策や、社会経済情勢、自然災害などさまざまな事象の総合的な影響が反映されます。市の施策の成果と必ずしも直接的に結びつくものではありませんが、基本目標ごとの実現状態を測定できる指標を設定することで、5年後の市の姿を定量的に把握することができます。
重要業績評価指標 (KPI)	具体的な施策ごとに、施策が目指すものを明確にするとともに、その進捗状況を客観的に検証するために設定	基準値とその時点での最新の実績値、及び目標値を比較しながら、施策が計画どおりに成果を生み出し、基本目標の達成に寄与しているか否かを検証します。特に当初の狙い通りの成果を生み出していない場合や、基本目標の達成に寄与する度合いが低い場合は、その要因を分析し、施策の見直しや新たな施策の検討を行います。

*運用する中で、社会状況との乖離が大きくなった場合等には、実態にあわせて指標及び目標値を見直すことも考えられます。